

あおもり市議会だより

ぎかいの森

令和7年第2回定例会の内容を
わかりやすく 市民の皆さんにお伝えします

Vol. 34

令和7年8月

特

集

市民病院

in あおもり

目次

特集	P 2
議決した主な議案	P 4
こんなことを聞きました。	P 5
トピックス	P 15

写真：市民病院に勤務する医療スタッフの方々（撮影のため一時的にマスクを外しています。）

今回取材にご協力いただいたお二人です



とよき よしかず
豊木 嘉一 院長

医師になって36年目。高校時代に見たテレビ番組がきっかけで医師に興味を持ち、医学部に入学。精神科医を目指していましたが、卒業時には外科医になっていました。



やまざき さとこ
山崎 智子 看護局長

看護師になって32年目。人に優しく思いやりのある看護を目指しています。看護師という仕事は一生勉強していく仕事。看護師の育成にも力を入れています。

特

集

市民病院

in あおもり

今回のテーマは「市民病院」です。青森市民病院は青森地域二次医療圏の基幹病院として、一般診療から救急医療、高度医療まで幅広く担当しています。人口減少や医療従事者不足、さらには新興感染症対策など地域医療を取り巻く課題や多様な医療ニーズ等に対応し、持続可能な、強い医療提供体制を構築していくために、現在、青森県立中央病院との統合に向けた検討が進められています。そこで今回は、市民病院にスポットを当て、豊木嘉一院長と山崎智子看護局長にお話を伺ってきましたので、その内容をお届けします。

【議員】 本日はよろしくお願ひします。まず初めに、それぞれ医師、看護師を志したきっかけを教えてください。

【豊木院長】 高校生のとき、たまたま見たテレビ番組で、がんの告知について話していて、当時は告知なんて全くない時代だったので、これはすごいと、興味をそそられたのがきっかけです。

【山崎看護局長】 私は、看護師という仕事は、女性が資格を持って自立した生活をしていける仕事だと

考えたことと、当時、高校の先生からの後押しもあり、看護師を目指そうと思いました。

【議員】 ありがとうございます。それでは、市民病院の役割について教えてください。

【豊木院長】 まず、当院は現代医療の最前線だと思っています。地域の駆け込み寺のように、急患も受け付けるとともに、高度な専門的な治療も提供していくことが、地域住民に対する私たちの役割じゃないかと思っています。また、医師、看護師などの医療人を育てることも地域に対する役割の一つではないかと思っています。

【議員】 院長の姿勢に情熱を感じるお話でした。当院の強みは何でしょうか？

【豊木院長】 当院は、県指定のがん診療連携推進病院であり、がん診療には力を入れています。私自身

は肝臓や胆のう、脾臓の外科が専門ですが、昨年、専門医施設の認定も受け、肝胆脾疾患についても力を入れています。それに加え、

心・脳血管疾患においても常勤医がそろっており充実しています。

また、骨折等の外傷を含め、膝関節、股関節といった整形外科については、恐らく弘前大学の関連施設の中で当院の手術件数が一番多く、強みの一つだと思います。

〔議員〕 どの自治体病院も経営が大変ですが、当院の経営改善について、どのようにお考えですか？

〔豊木院長〕 コロナ禍前と比較すると、受診控えがまだあるように感じていて、最近では、慢性疾患が急性化して運ばれてくる高齢の患者さんが多いです。やはり、待っているだけではなくて、病院が地域に出て、こういうことに注意しましょうなど、積極的に啓発しな

から患者さんを拾い上げ、病院に通ってもらうということが必要だと思っています。

〔議員〕 県病との統合に関して、どのようなお考えですか？

〔豊木院長〕 東青地域で急性期を担う自治体関連の病院が1つになっってしまうので、県・市の行政だけではなく、民間の病院や医師会、介護施設などを含め、広く連携を図る必要があると思います。また、今後、人口減少や人手不足が問題となる状況の中、地域を巻き込んだ形で集約化を進めることが大事だと思います。

〔山崎看護局長〕 共に何を目指していくのかという意思を統一しながら病院づくりをしていくことが必要だと思っています。

〔議員〕 とても大事な視点ですね。最後に、市民に向けて一言お願いします。

〔山崎看護局長〕 地域の急性期病院として、かかりつけ医や介護施設等と連携しながら、地域社会になげる役割を果たせるよう、患者さんとご家族が安心して利用できる病院づくりをしてまいります。

〔豊木院長〕 当院では職員の接遇向上に努めていて、日総研の接遇大賞を受賞したこともあります。安全で良質な医療の提供と、皆様に信頼される病院を目指し、スタッフ一同一層努力してまいりますので、よろしく願います。

〔議員〕 お忙しい中、貴重なお話をありがとうございました。



取材を終えて。
ご協力誠にありがとうございました。

（取材日：令和7年5月22日）

左から、長谷川議員、山崎看護局長、
豊木院長、山本議員

青森市議会で

議決した主な議案です。

●令和7年第2回定例会

会期28日間 5月30日～6月26日

●第2回定例会で可決等した

議案・請願

市長提出議案20件中……………20件

(承認1件、可決18件、

同意1件)

議員提出議案6件中……………6件

(可決)

請願2件中……………0件

(採択)

■以上の中から主なものをお知らせします。なお、全ての議案名と結果は、*市議会ホームページで御覧いただくか、議会事務局へお問合せください。

その1

令和7年度6月補正予算案を可決しました

今期定例会では一般会計予算に関する議案として、開会日に、昨冬の豪雪により農業用ハウスや畜舎等に被害を受けた農業者及び畜産農家に対し、被災施設の修繕、再建及び撤去の支援に要する経費等を措置する補正予算案（第1号）が提案されたほか、本会議3日目には、エネルギー消費性能の優れた省エネ家電等への買換え等に対する助成金が予算額を超過する見込みとなり、支援を継続するための経費を措置する補正予算案（第2号）が提案されました。

市議会では、これら議案について、全会一致で可決し、補正後の令和7年度青森市一般会計予算は次のとおりとなりました。

●令和7年度青森市一般会計補正
予算額 3億8千7万1千円
補正後の予算額

1千338億207万1千円

その2

専決処分（青森市市税条例の一部を改正する条例の制定について）を承認しました

地方税法及び地方税法等の一部を改正する法律の一部を改正する法律の公布に伴い、令和7年4月1日から施行される部分のうち緊急を要するものについて改正するため、地方自治法第179条第1項の規定に基づき、青森市市税条例の一部を改正する条例を専決処分により制定したことから、今期定例会において、その承認を求められました。

改正内容については、二輪の原動機付自転車のうち、総排気量が0・125リットル以下で最高出力が4・0キロワット以下のものに係る軽自動車税種別割の税率を、現在の50cc原動機付自転車と同額の年額2千円に定めるものです。

市議会では、同専決処分について、全会一致で承認しました。

その3

青森市市税条例の一部を改正する条例案を可決しました

●青森市市税条例の一部を改正する条例

今期定例会では、地方税法及び地方税法等の一部を改正する法律の一部を改正する法律の公布に伴い、所要の改正を行うための条例案が提案されました。

改正内容については、令和8年度分以降の個人住民税に係る控除として、納税義務者が特定親族を有する場合、特定親族の合計所得金額に同じ、その納税義務者の前年分の総所得金額等から控除する「特定親族特別控除」を創設する等の改正を行うものです。

市議会では、同案について、全会一致で可決しました。

※特定親族とは、居住者と生計を一にする年齢19歳以上23歳未満の親族（配偶者等を除く）で合計所得額が58万円超123万円以下の人のこと。

その4

契約の締結に係る議案を可決しました

今期定例会では、議会の議決が必要な予定価格1億5千万円以上の工事に係る契約の締結として、6件の議案が提案されました。

市議会では、各議案について、全会一致で可決しましたが、そのうちの主な内容を紹介します。

□桑原29号線橋梁（上部工）整備工事（自由ヶ丘二丁目43番地先）

契約金額 2億1千997万945円

□青森市立西中学校屋外教育環境整備工事

契約金額 2億1千133万612円

□青森市営野球場（ダイシンベースボールスタジアム）グラウンド改修工事

契約金額

1億3千382万9千896円

□青森市営野球場（ダイシンベースボールスタジアム）スタンド改修工事

契約金額 4億2千350万円

質

問

質

疑

こんなことを

聞きました。

第2回定例会において行われた一般質問、予算特別委員会の議案質疑の中から、一議員につき一項目の質問・質疑及び答弁の要旨を掲載しています。

●質問・質疑を行った議員・委員数

●第2回定例会

一般質問……………26名
予算特別委員会……………14名
(館山委員長、村川副委員長)

※本会議での一般質問等の様子については、生中継及び録画映像の配信をしていますので、下の2次元コードからアクセスの上、御覧ください。



各議員の質問・質疑は、6ページから14ページにかけて掲載しています。

総務



市職員採用試験の 変更点について

市民クラブ 工藤 健

Q 市職員採用試験の今年度からの改定内容についてお示しください。

A 総務部長 今年度は、企業等職務

経験者の募集期間を3か月程度に拡大し、一次試験の試験科目に特別な公務員試験対策が不要な総合適性検査（スコア）をテストセンター方式で実施します。来年度からは、大学卒業程度の試験においてもスコアを実施し、県内の大学等からの学校推薦枠を新設するほか、募集及び最終合格発表時期をこれまでより2か月前倒しし、3月に募集を開始し、6月に最終合格発表をすることとしています。

※SCOAとは、基礎能力や事務能力といった知的側面から、性格や意欲といった情意的側面まで多面的に測定・評価できる適性検査のこと。

選挙



投票支援について

無所属 相馬 純子

Q 衆議院議員総選挙における投票支援についてお示しください。

A 選挙管理委員会事務局長 障がい

のある方などが円滑に投票できるための投票支援として、点字投票や代理投票、車椅子配備等のほか、令和6年の衆議院議員総選挙から、投票所が必要とするサポートを事前に記入し、投票所従事者に提示する投票支援カードや、絵や文字を指さして意思疎通できるコミュニケーションボード、投票用紙の候補者名を記入する部分を分かりやすくした投票用紙記入補助具を各投票所に配置したところです。

選挙



若年層に対する 選挙啓発の取組について

自民クラブ 柿崎 孝治

Q 若年層に対する選挙啓発の取組についてお示しください。

A 選挙管理委員会事務局長 当該啓

発については、市教育委員会と連携した模擬投票などの出前講座や新有権者への啓発はがきの発送等に取り組んできたところです。また、新たな取組として、本年7月予定の参議院議員通常選挙において、青森第一高等学校及び青森高等学校で、バスを活用した移動期日前投票所を試行的に開設し、効果等を検証することとしており、今後も引き続き、若年層への啓発に取り組んでまいります。



青色は、総務企画常任委員会に関連する質問・質疑です。

※各議員が行った全ての質問・質疑のうち、一項目だけを選択して掲載しています

防 災



避難所の備蓄物資

について

立憲民主・社民
藤田 誠
ふじた まこと

Q

災害時に自宅に住んでいられない方が避難所へ避難するのが一般的であり、青森市民全員に対応した備蓄物資が避難所に準備されていると勘違いをしている方がいるため伺いますが、避難所における備蓄物資の状況をお示しく下さい。

A

総務部長

現在、備蓄物資の数量は約2万人分保管しており、このほか必要に応じ民間事業者等との災害時応援協定により、提供を受けることが可能です。市民の皆様においては、自助として、平時から備蓄品等を準備して、災害に備えていただくようお願いします。

観 光



青森ねぶた祭の観覧席に おける県と新町商店街振 興組合との協議について

無所属
中村 美津緒
なかむら みつお

Q

当組合が新町通りに無料観覧席を設置できなくなった場合、混乱が生じる可能性が高いと考えますが、その際の対応をお示しく下さい。

A

経済部長

これまで道路占用許可を受け設置されてきた約3千席の観覧席がなくなるほか、特に人通りが多く、雑踏対策が必要な青森駅に近い場所であることなど、観覧席が設置されないことによる新町通り特有の様々な課題への対応が必要になると想定されるため、手段の一つとして、有料観覧席の設置の検討についても議論されていくものと承知しています。

国際交流



国際交流員の

取組について

日本共産党
万徳 なお子
まんとく なおこ

Q

異なる文化を持つ人々を理解し、それらを受容しながら共生することとは重要と考えますが、市の国際交流員の取組をお示しく下さい。

A

経済部長

現在、経済部に配置している英語圏、韓国、台湾の合計3名の国際交流員の主な取組として、メールマガジンやSNSを通じて、青森の生活で感じたことなどを発信するほか、自国の観光スポットや食、歴史などの文化を紹介する異文化理解講座や、外国人住民を対象として、市営バスの乗り方などをテーマに交流型日本語教室等を開催しています。



カクヒログループスーパー
アリーナの駐車場について

自民クラブ 関 貴光
せき たかみつ

Q 駐車場不足解消のため、臨時駐車場だけではなく、隣接地の活用が必要と考えますが、青い森セントラルパーク内に新たな駐車場を増やす考えはないかお示しください。

A 経済部理事 大会等で多くの利用

者が見込まれる際は、事前に指定管理者と主催者で協議し、青い森セントラルパーク東広場及び西広場を臨時駐車場として開放するなどの混雑対策を行ってまいります。現時点では、新たに駐車場を整備する考えはないものの、指定管理者と連携を図りながら駐車場の混雑対策を検討してまいります。

アリーナ



Jリーグクラブの
キャンプ誘致について

自民クラブ 中田 靖人
なかた やすひと

Q サッカーJリーグにおける令和8年からのシーズン移行に伴う本市のJリーグクラブのキャンプ誘致の現状をお示しください。

A 市長 キャンプ誘致に向けては、

長く青森山田高等学校サッカー部の監督を務めた黒田剛監督が指揮を執るFC町田ゼルビアと協議を進めています。また、チームを統括する立場のクラブ関係者に対し、本市でキャンプを実施していただきたいという私の熱い思いを伝え、手応えを感じたところであり、今後キャンプ実施の早期決定に向け協議を進めてまいります。

スポーツ



Jリーグクラブの
キャンプ地に求められる
条件について

創青会 舘山 善也
たくやま じゅんや

Q Jリーグクラブのキャンプ地としてクラブ側から求められる条件についてお示しください。

A 経済部理事 これまで視察を受け

入れたクラブとの意見交換や他都市の事例から、練習を行うグラウンドがプロ選手のトレーニングを併せた良質な天然芝であることのほか、宿泊施設で3食ビュッフェ形式の食事の提供が可能であること、さらには、Jリーグに属する他のクラブなどとの練習試合をキャンプ地、または周辺地域で開催できる環境にあることなどが挙げられています。

スポーツ

教 育



夜間中学の設置について

公明党 渡部 伸広
わたなべ のぶひろ

Q 夜間中学の設置に向けた教育長の考えをお示しください。

A 教育長 夜間中学の設置については、青森市教育振興基本計画の施策の一つである多様な教育ニーズへの対応に資するものであり、不登校対策を取りまとめた「おおもりCOCOLOプラン」に掲げる個別のプログラム、校内教育支援センター、不登校等特認校の設置等に夜間中学の設置が加わることで、学齢期の不登校生徒に対して、さらに新たな学びの場を提供することができ、より手厚い不登校対策になるものと考えています。

教 育



浪岡学校給食センターの存続について

日本共産党 天内 慎也
あまな い しんや

Q 今と未来の児童・生徒に浪岡の農産物で作る給食を残すため、これまで3年間、町内会やPTA、保護者の皆さんと議論を重ね、本年4月、3団体の連名で教育長宛てに青森市浪岡学校給食センターの存続を求める要望書を提出しましたが、市は、どのように受け止めているのかお示しください。

A 教育委員会事務局理事 本市としては、整備費の抑制や地域食材を活用した食育に市域全体で取り組めるなどの効果が見込まれることから、当該センターを小・中学校給食センターへ集約していきます。

教 育



部活動の地域展開について

自民クラブ 澁谷 洋子
しぶたに ようこ

Q 市における部活動の地域展開の取組についてお示しください。

A 教育長 今年度の取組として、市PTA連合会、教育委員会等で組織された青森市学校・PTA地域クラブ推進協議会による、おおもり地域クラブとしての、読書クラブ・歴史クラブの設置・運営や、部活動指導員の5名から19名への拡充、各学校の地域展開の取組を支援する検討委員会の開催などが挙げられます。市では、今後も生徒の声を最優先に考え、各校の取組を支援し、円滑な地域展開となるよう取り組んでまいります。



教育



教育活動における 新聞の活用について

市民クラブ 奈良 祥孝

Q 教育活動に新聞を活用するNIEについては大賛成ですが、本市の教育活動における新聞の活用状況をお示しください。

A 教育部長 学習指導要領では、新聞を教材として活用し、読解力や情報活用能力の育成に資する学習活動を行うよう示されています。具体的な学習活動の例として、小学校では、新聞から知り得た時事問題や環境問題に関わる情報を全校児童に発表する活動等を、中学校では3学年国語科の授業で社説を読み、自らの考えを交流する活動等を行っています。

※NIEとは、Newspaper in Educationの略で、学校などで新聞を教材として活用する活動のこと。

農林水産



米の生産基盤の強化 について

創青会 小倉 尚裕

Q 昨年の夏、店頭から米が消える令和の米騒動が発生し、その後米価の上昇が続きました。今こそ米の安定供給に向けた基盤整備・強化が求められると思いますが、本年5月9日に西市長が会長を務める国営浪岡川・五所川原市南部土地改良事業促進協議会が県知事に提出した要望内容をお示しください。

A 農林水産部長 本協議会では、当該地域が安全で安心な食料を供給する役割を担っていくため、令和8年度からの浪岡ダム等の老朽化対策に向けた地区調査着手について要望したものです。



市営住宅



市営住宅における 共益費の負担増について

公明党 工藤 夕介

Q 入居率低下に伴う共益費の入居者の負担増について、市はどのように考えているのかお示しください。

A 都市整備部長 共益費は、受益者負担の原則から、入居者が負担し、入居者で組織する自治会が徴収方法を決定しています。ここ数年、入居率の低下に加え、電気料金等の高騰による共益費の負担増に係る相談が本市に寄せられており、市では、連帯保証人の人数緩和や家賃債務保証制度の導入等の周知、市営住宅の集約化により入居率向上が期待され、入居者の負担軽減に寄与できると考えています。

橙色は、都市建設常任委員会に関連する質問・質疑です。

除排雪



除排雪検討会議について

市民クラブ 木下 靖
きのした やすし

Q 第1回青森市除排雪検討会議の開催概要をお示しください。

A 市長 本市の除排雪事業は、これまでの知識や経験では補い切れない課題が発生しています。そこで、課題等の抽出と解決の方向性を整理するため、除排雪業者、地域コミュニティ、市民代表、福祉、気象の各分野からの委員で構成する第1回青森市除排雪検討会議を5月8日に開催しました。今後、7月及び8月に開催予定の第2回、第3回検討会議で意見等を取りまとめ、持続可能な除排雪体制の構築に取り組んでまいります。

除排雪



除排雪事業の抜本的見直しについて

創青会 木村 淳司
きむら じゅんじ

Q 本市の除排雪事業を持続可能とするため、包括契約方式への移行やICT・AIの活用といった抜本的な見直しが必要だと考えますが、青森市除排雪検討会議において、こうした契約の仕組みや実施体制を見直す議論を行う可能性があるのかお示しください。

A 都市整備部理事 本検討会議では、委員からの御意見も参考に、また、さきに実施している業者ヒアリングや他都市の事例なども踏まえ、本市において、持続可能な除排雪体制の構築に向けた総合的な検討を進めることとしています。

除排雪



GPSを活用した除排雪システムの導入について

日本共産党 赤平 勇人
あかひら ゆうと

Q 上越市、秋田市などで導入され、八戸市でも実証実験が行われたGPSを活用した新たな除排雪システムの導入について、前回の3月議会において質問したところ、青森市除排雪検討会議を活用し検討することでしたが、その検討状況をお示しください。

A 都市整備部理事 第1回青森市除排雪検討会議において、委員から、情報の共有は非常に大事であるという御意見をいただいたところであり、GPSのシステムについても、恐らく必要となるツールであると考えています。

水道



PFAS汚染について

立憲民主・社民
小熊 ひとみ

Q 現在、国内の水道水や地下水等から、発がん性など、人体への影響が指摘されるPFASの検出が相次いでいますが、今後市が実施するPFAS対策をお示しく下さい。

A 水道部長

現在、国においては、PFOS、PFOAを検査や改善を義務づけられる水質基準項目に位置づけし、令和8年度から年4回の水質検査を義務づける見通し

ですが、市では、これを前倒しし、今年度から全ての上水道施設、簡易水道施設で年4回の水質検査を実施し、ホームページ等で公表することとしています。

※PFASとは、ペルフルオロアルキル化合物及びポリフルオロアルキル化合物の総称。その中でも、PFOS、PFOAは人の健康保護の観点から規制やリスク管理に関する取組が進められている。

ごみ処理



高齢者のごみ出し支援について

創書会
里村 誠悦

Q 高齢化が進み、ごみ出しに困っている市民の声を日常的に聞くことから対策が必要であると考えますが、市において、戸別収集を実施する考えはないかお示しく下さい。

A 環境部長

昨年実施した全町会・町内会へのアンケート結果から、ごみ出し支援が必要と思われる世帯は221世帯でした。また、中核市への調査では、昨年12月時点で、全62市のうち44市が高齢者等へのごみ出し支援を実施しており、当該支援の必要性については認識していることから、引き続き当該支援の在り方を検討してまいります。

福祉



障がい者の減免手続の簡素化について

公明党
山本 武朝

Q 市有施設における減免手続の本人確認において、障害者手帳に代わる手段としてミライロIDの導入が進められているものの、いまだに紙の減免申請書への記入が必要な施設が多いことから、減免手続の簡素化を進めるべきと思います。が、市の考えをお示しく下さい。

A 福祉部長

現在ミライロIDが利用可能なものの、申請書の提出が必要な22の施設における減免手続の簡略化は、各施設の規則等の改正が必要なため、各施設の減免手続の実態を把握した上で手続の簡略化に向け取り組んでまいります。



赤色は、民生環境常任委員会に関連する質問・質疑です。

福祉



補聴器購入に対する

助成について

日本共産党
村川 みどり

Q 全日本年金者組合の調査によると、現在、当該助成制度は43都道府県、464自治体に広がっています。本市では、昨年の12月議会で「加齢性難聴者の補聴器購入に対する独自の財政支援制度創設を求める請願」が採択されましたが、市の検討状況をお示しください。

A 福祉部長 市では、議会での当該請願の採択を重く受け止めているところです。当該助成制度については、所得等の要件など、他自治体の状況等も参考に検討する必要があると考えており、今年度中を目途に検討を進めてまいります。

福祉



ダブルケア支援について

無所属
山田 千里

Q 市では、国や県の取組に合わせ、ダブルケアの問題を抱える相談に対処していくとのことですが、本市における相談窓口はどこになるのかお示しください。

A 福祉部長 ダブルケアの相談窓口として、まずは市内11か所の地域包括支援センターとなりますが、介護の相談についてお聞きし、相談者の家庭の状況等を確認するとともに、家族介護者支援マニュアルを活用しながら、必要に応じて育児の相談窓口となるあおもり親子はぐくみプラザと連携して対応していくこととしています。

※ダブルケアとは、1人の人や1つの世帯が同時期に介護と育児の両方を行うこと。

福祉



引取り手のない

遺体への対応について

市民クラブ
竹山 美虎

Q 引取り手のない遺体への対応及び過去5年間の対応件数についてお示しください。

A 福祉部長 市では、警察署等の関係機関から遺体の引取り依頼があった際、扶養義務者の有無等の確認を行い、その結果、扶養義務者がいない等により葬祭を行うことが困難であると判断した場合、市が対応可能な委託業者に遺体の処置業務を依頼しています。過去5年間の対応件数は、令和2年度10件、令和3年度12件、令和4年度20件、令和5年度33件、令和6年度27件となっています。

福祉



横須賀市のエンディング
プラン・サポート事業に
ついて

創青会 木戸 喜美男
きど きみお

Q

一人暮らしの高齢者の方から、自分が亡くなった後の面倒を見る人がいないとの相談を受けました。同様の悩みを抱える方がいると思いますが、本事業を本市でも行う考えはないかお示してください。

A

福祉部長 横須賀市において、本

事業を実施していることは承知しています。国では、身寄りのない高齢者に対し、死後事務等の支援を提供する新たな事業への対応の方向性を示したところであり、本市独自の支援策の実施は現時点で考えていませんが、今後の国の動向を注視してまいります。

※エンディングプラン・サポート事業とは、一人暮らしで身寄りがなく、生活にゆとりがない高齢等の市民の葬儀・納骨などの課題の解決を図り、生き生きとした人生を送ってもらうことを目指した事業。

子育て



子育て支援について

公明党 軽米 智雅子
かろみ ちかこ

Q

市が把握する34か所全ての授乳室において搾乳が可能であるものの、このことについて理解が進んでいないことから、授乳室で安心して搾乳ができるように、授乳室で搾乳ができることを知らせるマークを表示するべきだと考えますが、市の見解をお示してください。

A

子ども未来部長 授乳室を搾乳の

ために利用したい方が気兼ねなく利用できるよう、まずは市有施設の授乳室に搾乳での利用が可能であることの表示を進め、授乳室を設置する商業施設等に対しても、表示の協力を求めてまいります。



搾乳が可能であることをお知らせする表示（例）

健康づくり



女性の健康づくり

について

立憲民主・社民 蛭名 和子
えびな かずこ

Q

第2次の青森市健康寿命延伸計画にライフコースアプローチを踏まえた女性の健康づくりを明記した理由とその取組をお示してください。

A

保健部長 国の第3次健康日本21

に、女性はライフステージごとに女性ホルモンが劇的に変化するため、人生の各段階における健康課題の解決が重要である旨が明記されており、本市でも支援するものです。今後、痩せや月経困難症等、若い女性特有の健康課題に関するリーフレットの大学等への配布や、女性特有の疾患に係る情報などをSNS等で周知する予定です。

※ライフコースアプローチとは、胎児期から高齢期までの一生を通して継続した対策を講じること。

※健康日本21とは、国民の保健医療対策上重要となる課題について、目標等を提示した「21世紀における国民健康づくり運動」のこと。

全国市議会議長会の表彰が行われました

今期定例会の開会日（5月30日）に、市議会議員として長年にわたり市政の発展に尽くされた次の方々に、全国市議会議長会からの特別表彰及び一般表彰の表彰状を伝達しました。

☆特別表彰者

【議員在職35年以上】

奈良 祥孝

☆一般表彰者

【議員在職10年以上】

中村 美津緒



奈良 祥孝 議員



中村 美津緒 議員

議会運営委員会の視察概要を報告します

市議会では市政の課題や先進事例の調査を行うため、他自治体への行政視察を行っています。このうち、議会運営委員会が行った視察（令和7年5月12日～14日実施）について報告します。

市議会ホームページに視察の概要を掲載しています。下の2次元コードからアクセスできますので、ぜひご覧ください。



■埼玉県日高市（5月13日）



日高市議会ソーシャルメディアの利用に関するガイドラインについて

■東京都江戸川区（5月14日）



江戸川区インターネット健全利用促進条例及び区議会議員による情報発信ガイドラインについて

傍聴者の声から

令和7年第2回定例会を傍聴された方から寄せられた御意見等を御紹介します。

- 初めて議会を傍聴したが、市が抱える課題を多方面から知ることができたのが良かった。一市民として、市のことが全然理解できていなかったことも認識できた。今回の傍聴は機会があり参加したが、市民が理解すべき事項が大いにあるため、まずは身近な青森市民に議会の感想を伝えたいと思う。特に除雪に関しては、行政や事業者だけではなく、市民も一丸となって解決すべき課題であるので、一市民としてできることをやっていきます。

令和7年第1回「議員とカダる会」を開催しました

「議員とカダる会」(議会報告・意見交換会)については、令和7年5月に、市内4会場で下記のとおり開催しました。主な内容については、令和7年第1回定例会に関する議会報告のほか、会場ごとに設定したテーマについて意見交換会を行いました。ご参加いただいた市民の皆様、誠にありがとうございました。各会場の報告書を市議会ホームページに掲載していますので、下の2次元コードからご覧ください。

また、いただいたご意見等のうち、一部については「議会の意見」として執行機関に回答を求めていますので、後日、その回答は市議会ホームページ等を通じてお知らせします。



報告書への
2次元コード

◎開催状況

日にち	常任委員会	場所	テーマ
5/8	都市建設	本庁舎サードプレイス	除排雪について
5/9	民生環境	青森市つどいの広場 「さんぽぽ」	子育て支援について
5/14	文教経済	青森公立大学	ふるさとへの思い ～若者の人口流出
5/20	総務企画	カクヒログループ スーパーアリーナ	災害・防災について



本庁舎サードプレイスでの様子

被爆ピアノ平和コンサートを開催します

本年、戦後80年という節目の年を迎える中、全国各地で被爆ピアノ平和コンサートを開いている広島市の調律師、矢川 光則氏からコンサート開催の提案がありました。

市議会では、被爆ピアノによるコンサートが、戦争の悲惨さとともに平和への喜びや命の貴さを再認識する機会になると考え、また、より多くの市民と平和への思いを共有するため、実行委員会、青森市と共に、下記の日程でコンサートを開催しますので、ぜひお越しください。

日時：令和7年10月18日(土) 午前10時30分～

場所：青森市役所本庁舎1階 サードプレイス

内容：公募による被爆ピアノ演奏、ピアニストによる被爆ピアノ演奏

被爆ピアノ演奏者を公募！

平和への願いを込めて、被爆ピアノの音色を奏でてみませんか。
演奏時間は2分～4分程度で曲目・ジャンルは自由です。

申込：9月26日(金)までに、氏名・年齢・演奏予定曲目・演奏時間・被爆ピアノとその演奏に込めるご自身の想い(簡単に)を、下記問合せ先へFAXまたはEメールで申込(応募者多数の場合は抽選)

対象：市内在住者

問合せ：青森市被爆ピアノ平和コンサート実行委員会

代表：井垣勝男

FAX: 017-776-7418、TEL: 080-3355-3890

メール: godlove1953@ybb.ne.jp

被爆ピアノとは1945年8月6日に広島で原爆が投下された際、爆心地より約3キロメートル以内で被害を受けたピアノです。



編集後記

議会だより編集会議
委員 長谷川章悦

議会を知るには、市議会だより「ぎかいの森」を読むことです。以前、大学生を対象に開催した「議員とカダる会」では、参加したほとんどの学生が本紙を読んだことがないとのことでした。まずは、市民と議会とのパイプ役としての「ぎかいの森」が皆さんから親しまれる紙面となるよう工夫しながら、議会だより編集委員一同頑張っています。

令和7年第2回定例会の傍聴者は65人、インターネット生中継へのアクセス件数は1,598件でした。
令和7年第3回定例会は8月27日開会の予定です。



市議会ホームページ <http://www.city.aomori.aomori.jp/gikai/index.html>